

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36101	アパレル商品論 Introduction to Apparel Items	長谷川えり子			2	選択	1、2前期
科目の概要							
アパレル業界の流通について、商品のながれをとらえ、動向を知る。また、アパレル商品について、色、素材、かたち（デザイン）の面から概要をとらえる。さらに、購入後の取り扱いについても洗浄方法について学び、製品の表示（サイズ、組成、原産国）を学修する。着用している既製服について、問題点を見出し、課題解決する能力を身につける。ファッション分野の専門的知識を修得し、衣服の賢い選択、取り扱い（洗濯）などを日常生活の中で活用できるように実践的に学修する。（DP③④に相当する）							
学修内容				到達目標			
① アパレル商品の流通について、ながれと実状を解説する。 ② 色の基本から実際のアパレル商品の色の特徴について、配色カードによる実習を通して学修する。 ③ アパレル商品の素材について、繊維から布地までをとらえ、使用特性を学修する。 ④ アパレル商品の取り扱いについて、家庭洗濯と商業洗濯の実際をとらえ、表示の内容を解説する。 ⑤ アパレル業界の現状を捉え、問題点を明らかにして、環境に配慮した衣生活を創造する。				① 生産から消費者の手元に届く流通のながれを把握し、売り上げ動向を評価することができる。DP③ ② 色の基本を捉え、対比効果、色彩心理、製品の染色方法と特徴を説明することができる。DP③ ③ 素材について、繊維、糸、布地、副資材の概要を知り、それぞれの特性を述べることができる。DP③ ④ アパレル商品の取り扱い方法について、最適な洗浄、保管方法を知り、表示内容を説明することができる。DP③ ⑤ これまで修得した知識を活用して、SDGsの観点からアパレル業界で取り組むべき課題に対して、解決策を提案することができる。DP③④			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	グループワークでは、積極的に役割を考えて取組み、能率良く作業を進める。毎時間、教員が提示した能力要素を意識して、取り組む。期末試験では、授業のノートをしっかりまとめ上げ、積極的に取り組む。					
	働きかけ力						
	実行力	色の対比効果演習、洗濯実習は、授業内容を日常生活の中で実践し、応用力を身に付ける。授業開始時に教員が提示した能力要素を意識して受講する。					
考え抜く力	課題発見力	日常生活の中で衣服着用時の使い心地に疑問を持ちながら、授業内容と照らし合わせる。					
	計画力						
	創造力	日常生活の中で既成概念にとらわれず、様々な使用特性に疑問を持ちながら考え、今後の衣生活のあり方について積極的に考える。					
チームで働く力	発信力	グループワークでは、自分の意見を他のメンバーにわかりやすく伝える。					
	傾聴力	教員の説明や他の学生の意見をしっかりと聞き、自分の考えを述べる DVD視聴では、自分の意見や感想をまとめ上げる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし 教員作成の資料により進める 参考文献：衣生活の科学－衣生活論－（建帛社）							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：ファッションビジネス論、ファッションコーディネート演習 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
日常生活におけるアパレル製品に目を向けて、実際の使用特性について考えましょう。また、アパレル製品売り場にも足を運び、商品構成や商品展開の現状をとらえましょう。				「ファッション販売検定」受験予定者は、本授業内容をしっかり理解し、検定対策に活かしましょう。 課題プリントはていねいにわかりやすくまとめましょう。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓		筆記試験は、授業で解説した内容を中心に記述式で出題するので、毎回の授業を理解し、事後学習でしっかりまとめること。 学習した内容は、日常生活の中で実践（衣服の使用感、洗濯、衣服表示の確認など）し、応用力を身に付けておこう。 試験問題の中に獲得した知識を活用して、応用課題を問う問題を出題する。 試験結果は、試験後に解説し、フィードバックする。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	20	①	✓		授業で配布するプリント、課題をわかりやすくまとめること。 各テーマに対してワークシートを配布するので、試料、配色カード等を丁寧に貼付してわかりやすくまとめる。問題点については、各自インターネットや文献を調査して、その内容を添付する。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①			（主体性）グループワークにおける取り組み姿勢、毎時間の振り返りシートを評価する。 （実行力）授業で学んだ内容を日常生活の場面で応用し、その結果をまとめたプリントの内容により評価する。 （課題発見力）ユニバーサルファッションの課題では、問題点をとらえ、自分の考えが記述されているかを評価する。 （創造力）授業で学んだ知識を活かして、今後の衣生活のあり方について、自分なりの意見が記述されているかを評価する。 （発信力）わかりやすく考えをプリントにまとめて発言できているかを評価する。 （傾聴力）教員の話はしっかり聞き、板書やPP提示以外にも大事な点はノートにまとめられているか、DVD視聴の記録がしっかりまとめられているかを評価する。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②				
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A：アパレル商品の種類とアイテムをとらえ、色、素材、形、取り扱い方法を正しく理解し、日常生活の中で最適な使用提案ができる S：上記に加え、グループワークは積極的に取り組み、今後の展望についても自分なりの意見を述べるができる。	B：アパレル商品の概要をとらえ、色、素材、かたち、取り扱い方法を正しく説明できる。 C：アパレル商品について、色、素材、かたち、取り扱い方法について、基本事項のみ説明できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	授業の進め方を説明する アパレル商品のながれを捉える。 業界の流通について学修する。	講義、DVD鑑賞 P Pにより内容を解説し、実際のアパレル業界の取り組み(D V D)内容を視聴し、プリントにまとめる。	アパレル商品とその流通のながれの概要が説明することができる。	(予習) シラバスを読み、授業内容を確認する。 (復習) アパレル商品のながれを再度まとめる。	100	創造力 傾聴力
2	既製服の実態説明(輸出入、生産量、業界動向)と既製服の概要調査 準備-既製服(シャツ、スカート、パンツ、ジャケット、靴下の中から1~2点)	講義と演習(グループワーク) P Pにより内容を解説し、グループワークで既成服の概要を調査し、P Cを活用してプリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	実際の既製服について、色、素材、表示などを調べ、概要を述べるができる。	(予習) 調査予定のアイテムを考えて準備する。 (復習) 手持ちの服についてアイテム毎に枚数を調べる。	180	主体性 課題発見力 発信力
3	アパレル製品のカラー① 色の名称と三属性の基本事項について、配色カードを用いて学修する。 準備-配色カード、はさみ、のり	講義と演習 P Pにより内容を解説し、配色カードを用いてプリント内容をまとめる。	色の名称と三属性について、配色カードを使用して分類することができる。	(予習) 手持ちの服の色の特徴を観察し、プリントにまとめる。 (復習) 身の回りの色の使い方を観察し、プリントにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力
4	アパレル製品のカラー② 色の対比効果について、配色カードでの実習を通して学修する。 準備-配色カード、はさみ、のり	講義と演習(個人ワーク) P Pにより内容を解説し、個人ワークで配色カードをプリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	色の対比効果について、見え方の特徴を理解し、表現できる。	(予習) 病院の手術着のカラーを調べる。業界のユニフォームのカラーを調べる。 (復習) 本日常用のスタイルから対比効果を確認し、特徴をまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
5	アパレル製品のカラー③ 色の配色効果と心理的効果について、配色カードとP Pの解説より学修する。 準備-配色カード	講義 P Pにより内容を解説する。実際に配色カードと照らし合わせて、内容を理解する。P Cを活用して実例を調査する。	アパレル製品に及ぼす色の配色効果について、心理的側面からとらえ、説明することができる。	(予習) 自宅のインテリアの色味を観察し、プリントにまとめる。 (復習) 色の心理効果について周りの色づかいをまとめる。	180	課題発見力 創造力 傾聴力
6	アパレル製品のカラー④ アパレル製品の色の付け方について、染料の種類、染色方法を学修する。 準備-はさみ、のり	講義と演習(グループワーク) P Pにより内容を解説し、グループワークでテキスタイルを顕微鏡で観察し、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	アパレル製品の色の付け方について、様々な染色方法の違いを認識することができる。	(予習) 手持ちの服の色の付け方(染色方法)を観察し、プリントにまとめる。 (復習) 無地、柄物の特徴を調べる。	180	実行力 発信力
7	アパレル製品の素材① 天然繊維(綿、麻、毛、絹)の種類を知り、形態と特性を学修する。	講義とDVD視聴 P Pにより内容を解説する。DVD鑑賞を通して、繊維の概要を理解する。	綿、麻、毛、絹について、繊維の形態や原料からの特性が説明できる。	(予習) 綿、毛が使用されているアイテムを調べ、使用感を上げる。 (復習) 繊維と服の特徴を検証し、プリントにまとめる。	180	主体性 創造力 傾聴力
8	アパレル製品の素材② 化学繊維(レーヨン、キュプラ、トリアセテート、ナイロン、ポリエステル、アクリル)の種類を知り、形態と特性を学修する。	講義 P Pにより内容を解説する。プリントに繊維の特徴をまとめ、提出する。	再生繊維、半合成繊維、合成繊維について、繊維の形態や原料から特性が説明できる。	(予習) 化学繊維が使用されているアイテムを調べ、使用感を上げる。 (復習) 繊維と服の特徴を検証し、まとめる。	180	主体性 創造力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	アパレル製品素材③ 糸の概要と布地の種類を学修する。布地の特徴については、厚みの計測、テキスタイル分解演習を行う。 準備－はさみ、のり	講義と演習（グループワーク） P Pにより内容を解説し、グループワークで試料を準備し、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	各種テキスタイルを分解することにより、糸、布地の構成や組織について説明できる。	（予習）ミシン糸の太さと番手を確認し、プリントにまとめる。 （復習）服地の観察を行い、柄の種類をまとめる。	180	主体性 実行力 状況把握力
10	アパレル製品の素材④ 副資材の種類を知り、裏地と芯地の使用目的を学修する。芯地については、種類による硬化度を検証する。 準備－はさみ、のり	講義と演習 P Pにより内容を解説し、実際の試料を、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	副資材の概要をとらえ、芯地と裏地について、用途や使用目的を述べることができる。	（予習）表地以外の材料の種類をプリントにまとめる。 （復習）裏地使用の服を観察し、アイテムを上げる。	180	主体性 実行力 規律性
11	アパレル製品のかたち 性別、年齢別の特徴を実際のアイテムから調査し、違いや商品構成を学修する。	講義と演習 P Pにより内容を解説し、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。 P Cを活用してアパレル製品と比較検討を行う。	アパレル製品のかたちについて、性別、年齢別の特徴を捉え、概要を説明することができる。	（予習）手持ちの服 1 アイテムについて特徴を調べる。 （復習）授業で学修したデザインの服を探し、特徴を調べる。	180	主体性 傾聴力
12	アパレル製品の管理① 衣服の汚れをとらえ、商業洗濯の実態を映像により学修する。	講義とDVD視聴 P Pにより内容を解説する。クリーニングの仕事内容（DVD視聴）を通して、実際のクリーニング業務の概要を理解する。P Cを活用してクリーニング業界の実態を調査する。	衣服に付着する汚れについて知り、洗浄方法（商業洗濯、家庭洗濯）の違いを上げることができる。	（予習）衣服に付着する汚れをあげ、プリントにまとめる。 （復習）クリーニングに出している服の種類を調査する。	180	主体性 傾聴力
13	アパレル製品の管理② 家庭洗濯のながれをとらえ、市販洗剤の種類を知る。洗剤の働きについて学修する。	講義と調査 P Pにより内容を解説する。洗剤の成分調査を行い、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。P Cを活用して市販洗剤の販売動向を調査する。	家庭洗濯における洗浄のプロセスを学び、洗剤の役割についてとらえ、洗浄方法がわかる。	（予習）自宅の洗濯機の概要、洗剤を調べる。 （復習）自宅での洗濯を実践し、授業内容を実際に理解する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
15	アパレル製品の表示について、取り扱い方法、サイズ表示の内容について学修する。	講義 P Pにより内容を解説する。表示内容をプリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	アパレル製品に付けられている法定表示について学び、正しい衣服の取り扱いができる。	（予習）既製服の表示をプリントにまとめる。 （復習）既製服の表示と服の特徴を合わせて観察し、プリントにまとめる。	180	主体性 発信力 傾聴力
14	アパレル業界におけるSDGs活動 アパレル業界の問題点を解説する。これまでの授業で獲得した知識を活用して、アパレル製品の今後のあり方について、SDGsの観点から検証し、新しい提案を行う。	講義（オンライン・オンデマンド） 環境に配慮した衣生活のあり方について、これまで獲得した知識を活用して、SDGsの観点から検証し、新しい提案を行う。P Cを活用して、アパレル業界の実態調査を行い参考とする。	アパレル製品の消費動向を学び、今後の衣生活のあり方について考えることができる。	（予習）環境に配慮した衣生活について課題をまとめる。 （復習）試験に向けて、授業全般の内容を確認し、ノートにまとめる。	300	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力